



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

玉井商船

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 玉井商船

コード番号 9127 URL <http://www.tamaiship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 本馬 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 木原 豊

TEL 03-5439-0260

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,323	△16.1	△85	—	△143	—	△87	—
23年3月期第1四半期	1,577	38.6	74	—	△238	—	△153	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △107百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△4.56	—
23年3月期第1四半期	△7.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,214	4,389	32.1
23年3月期	12,463	4,556	35.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,237百万円 23年3月期 4,402百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・24年3月期期末配当予想額は、現時点では引続き未定です。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	△2.7	150	△66.4	30	△56.5	20	△4.8	1.04
通期	6,900	0.7	440	△52.1	240	△50.9	830	230.7	42.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	19,320,000 株	23年3月期	19,320,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	8,898 株	23年3月期	8,898 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	19,311,102 株	23年3月期1Q	19,311,185 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・24年3月期期末配当につきましては、現時点では引続き未定とさせていただき、今後の業績推移や事業環境などを勘案した上で、予想可能と判断されるに至った時点で、改めてお知らせすることとさせていただきます。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用情勢に不安はあるものの製造業などで持ち直しの動きが見られ、中国では、消費・生産の伸びがやや鈍化しているものの固定資産投資は堅調に推移し、ユーロ圏では、生産が伸び悩み企業業績の軟調さも目立ちましたが、世界全体では緩やかに回復が続きました。一方、わが国経済は、東日本大震災の影響で供給網の寸断や電力不足が生じ生産活動が急速に落ち込んだものの、その後供給網の制約が和らぐ中で徐々に回復が続きました。

外航ドライバルク船の海運市況は、新興国を中心に鉄鋼原料等の輸送需要が拡大しているものの、それ以上に新造船の大量竣工に伴う船腹供給圧力が高く、ケーブサイズ船型をはじめ全船型で低迷が続きました。

燃料油はドル安、中東・北アフリカ情勢を背景に原油価格が急騰し、それに伴い燃料油価格も高止まりで推移しました。また、対米ドルの円相場は東日本大震災以降急速に円高が進み1ドル80円前後で推移しました。

このような状況下、当社グループの外航海運部門では、ハンディマックス船型を中心に効率的な輸送を行いました。前第1四半期連結累計期間に比べ市況の水準が低迷したことや対米ドルの為替相場が円高で推移したことなどにより、大幅な減収減益となりました。一方、内航海運部門では、東日本大震災で国内景気は低迷したものの、ドライ貨物、タンカー貨物輸送には大きな影響は無く、前第1四半期連結累計期間に比べ僅かながら増収増益となりました。当社グループ全体では、対前第1四半期連結累計期間比で減収減益となりました。

この結果、営業収益は1,323百万円（対前第1四半期連結累計期間比△253百万円、16.1%減）、営業損失は85百万円（前第1四半期連結累計期間74百万円の営業利益）、経常損失は143百万円（前第1四半期連結累計期間238百万円の経常損失）、また四半期純損失は87百万円（前第1四半期連結累計期間153百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ・外航海運業

支配船舶による国内向けボーキサイト、北米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミなどの輸送を行い、運航採算の向上に努めました。

営業収益は、前第1四半期連結累計期間に比べ市況の低迷、円高による影響、航海数が減少したことなどで、949百万円（対前第1四半期連結累計期間比△267百万円、22.0%減）となりました。営業費用は、燃料油価格が上昇したことによる運航費の増加があったものの、航海数の減少などにより全体として減少しました。以上の結果、営業利益は、79百万円（同△210百万円、72.6%減）となりました。

## ・内航海運業

所有船によるボーキサイト残渣輸送、定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送、所有船1隻による重油輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第1四半期連結累計期間に比べ燃料油価格の上昇に伴うバンカーサーチャージが増加したことなどで、336百万円（対前第1四半期連結累計期間比14百万円、4.6%増）となりました。営業利益面では、所有船3隻が入渠したことなどにより、34百万円の営業損失（前第1四半期連結累計期間47百万円の営業損失）となりました。

## ・その他

当セグメントにおいては、営業収益は、37百万円（対前第1四半期連結累計期間比△1百万円、3.2%減）、営業利益は、9百万円（同△3百万円、28.6%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ751百万円増加し、13,214百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金や繰延及び前払費用等のその他流動資産の増加などにより330百万円増加し、固定資産は、主に建設仮勘定の増加などで420百万円増加したことによるものです。負債は8,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ918百万円の増加となりました。これは、前受金、短期借入金の増加などによる流動負債の増加が433百万円、長期借入金の増加などによる固定負債が485百万円増加したものであります。

純資産は、四半期純損失87百万円や配当金57百万円などにより株主資本の減少145百万円とその他有価証券評価差額金の減少によるその他の包括利益累計額の減少19百万円と少数株主持分の減少1百万円により、前連結会計年度末に比べ167百万円減少し、4,389百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結会計期間以降における業績予想の見直しを行なった結果、平成23年5月13日付当社「平成23年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成24年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第2四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (平成23年5月13日公表)	今回予想 (平成23年8月9日公表)
期中平均為替レート	1US\$=80円	1US\$=80円
予想燃料油価格	US\$650/MT	US\$650/MT

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,112,859	2,161,467
海運業未収金	248,719	246,556
貯蔵品	325,602	314,630
繰延税金資産	87,320	135,752
その他流動資産	217,645	464,726
流動資産合計	2,992,146	3,323,133
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
船舶（純額）	6,910,450	6,727,231
建物（純額）	336,590	335,815
器具及び備品（純額）	3,568	3,200
土地	168,938	168,938
建設仮勘定	1,220,000	1,830,000
その他有形固定資産（純額）	9,897	9,389
有形固定資産合計	8,649,445	9,074,574
無形固定資産	5,182	4,806
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	559,524	528,259
繰延税金資産	147,654	174,692
その他長期資産	109,658	109,277
投資その他の資産合計	816,837	812,229
固定資産合計	9,471,465	9,891,610
<b>資産合計</b>	<b>12,463,612</b>	<b>13,214,743</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金	354,724	391,955
短期借入金	—	176,000
1年内返済予定の長期借入金	565,090	563,840
未払法人税等	200,431	1,296
前受金	437,502	842,035
賞与引当金	46,316	11,667
役員賞与引当金	8,800	—
その他流動負債	114,659	173,845
流動負債合計	1,727,524	2,160,640
固定負債		
長期借入金	5,477,342	5,945,758
繰延税金負債	116,420	122,583
退職給付引当金	160,906	156,142
特別修繕引当金	175,040	190,163
長期末払金	121,800	121,800
資産除去債務	11,701	11,750
その他固定負債	116,450	116,630
固定負債合計	6,179,661	6,664,828
負債合計	7,907,185	8,825,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	280,268	280,268
利益剰余金	3,364,998	3,219,096
自己株式	△1,107	△1,107
株主資本合計	4,346,158	4,200,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,357	36,808
その他の包括利益累計額合計	56,357	36,808
少数株主持分	153,910	152,209
純資産合計	4,556,427	4,389,274
負債純資産合計	12,463,612	13,214,743

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
海運業収益	1,538,008	1,285,692
海運業費用	1,277,776	1,237,110
海運業利益	260,231	48,581
その他事業収益	39,019	37,773
その他事業費用	9,324	12,036
その他事業利益	29,694	25,736
営業総利益	289,926	74,317
一般管理費	215,126	160,127
営業利益又は営業損失(△)	74,800	△85,809
営業外収益		
受取利息	287	67
受取配当金	7,668	8,703
その他営業外収益	1,905	60
営業外収益合計	9,861	8,831
営業外費用		
支払利息	27,611	30,819
支払手数料	269,614	20,536
為替差損	17,813	14,649
その他営業外費用	8,111	28
営業外費用合計	323,151	66,033
経常損失(△)	△238,489	△143,011
特別損失		
投資有価証券評価損	5,417	—
退職特別加算金	—	1,414
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,622	—
特別損失合計	9,040	1,414
税金等調整前四半期純損失(△)	△247,529	△144,426
法人税、住民税及び事業税	37,580	267
法人税等調整額	△130,454	△57,307
法人税等合計	△92,873	△57,039
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154,656	△87,386
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△861	581
四半期純損失(△)	△153,794	△87,968

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154,656	△87,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,960	△20,352
その他の包括利益合計	△60,960	△20,352
四半期包括利益	△215,616	△107,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211,085	△107,517
少数株主に係る四半期包括利益	△4,531	△221

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,216,534	321,473	1,538,008	39,019	1,577,027	—	1,577,027
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,216,534	321,473	1,538,008	39,019	1,577,027	—	1,577,027
セグメント利益又は損失(△)	290,324	△47,115	243,208	13,795	257,004	△182,204	74,800

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業及び保険代理店業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△182,204千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	949,392	336,299	1,285,692	37,773	1,323,465	—	1,323,465
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	949,392	336,299	1,285,692	37,773	1,323,465	—	1,323,465
セグメント利益又は損失(△)	79,462	△34,002	45,460	9,854	55,315	△141,125	△85,809

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△141,125千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。